

常設展「浮世絵師 歌川派列伝-国貞・広重・国芳-」出陳リスト

令和2年6月27日(土)～9月6日(日)

前期：6月27日(土)～8月2日(日)／後期：8月4日(火)～9月6日(日)

	作品名	絵師	版元	制作年代	展示期間
歌川派黎明期					
1	浮絵 浪花天満天神橋夜祭之図	歌川豊春	西村屋与八	江戸時代中期	前
2	江戸八景之内 日本橋之夕照	歌川豊国	河源	文化8年(1811)	後
3	江戸名所春興合 吉原買初	歌川豊国	不明	江戸時代後期	前
4	江戸八景 日本橋晴嵐	歌川豊広	不明	江戸時代後期	後
5	市村亀蔵の五郎時宗	二代鳥居清信	丸屋小兵衛	江戸時代中期	前
6	市川団蔵のしのつか五良	鳥居清満	扇屋	江戸時代中期	後
7	風俗四季哥仙 水無月	鈴木春信	不明	江戸時代中期	前
8	俳諧当世風俗 芭蕉翁 古池や	磯田湖龍斎	不明	江戸時代中期	後
9	風流錦絵 伊勢物語 り	勝川春章	不明	江戸時代中期	前
10	風流錦絵 伊勢物語 ね	勝川春章	不明	江戸時代中期	後
11	東海道五十三次駅路鈴	葛飾北斎	伊勢屋利兵衛	江戸時代後期	頁替
12	石部金吉	東洲斎写楽	葛屋重三郎	寛政6年(1794)	前
13	石井源蔵	東洲斎写楽	葛屋重三郎	寛政6年(1794)	後
14	難波屋おきた	喜多川歌麿	葛屋重三郎	江戸時代後期	前
15	当時三美人	喜多川歌麿	葛屋重三郎	寛政2年(1790)-文化元年(1804)	後
歌川派三羽鳥					
16	東海道五十三次 箱根之図	歌川国貞	森谷治兵衛	天保4年(1833)年頃	前
17	東海道五十三次 池鯉鮒	歌川国貞	佐野屋喜兵衛	天保4年(1833)年頃	後
18	東海道五十三次 保永堂版 箱根	歌川広重	竹ノ内孫八	天保4年(1833)年頃	前
19	東海道五十三次 保永堂版 池鯉鮒	歌川広重	竹ノ内孫八	天保4年(1833)年頃	後
20	東海道五十三次 土山之図	歌川国貞	森谷治兵衛	天保4年(1833)年頃	前
21	東海道五十三次 草津ノ図	歌川国貞	不明	天保4年(1833)年頃	後
22	東海道五十三次 保永堂版 土山	歌川広重	竹ノ内孫八	天保4年(1833)年頃	前
23	東海道五十三次 保永堂版 草津	歌川広重	竹ノ内孫八	天保4年(1833)年頃	後
24	錦昇堂版役者大首絵 平太郎良門	歌川国貞	恵比須屋庄七	文久3年(1863)	前
25	錦昇堂版役者大首絵 八百屋娘於七	歌川国貞	恵比須屋庄七	文久3年(1863)	後
26	今様押絵鏡 芸者長吉	歌川国貞	藤岡屋慶次郎	安政6年(1859)	前
27	今様押絵鏡 木やりの権三	歌川国貞	藤岡屋慶次郎	安政6年(1859)	後
28	木ひき町森田座顔見勢楽座之図	歌川国貞	西村屋与八	文化9年(1812)	前
29	さかい町中村座楽座之図	歌川国貞	西村屋与八	文化10年(1813)	後
30	豊国揮毫奇術鏡 賊首兎雷也	歌川国貞	平野屋新蔵	文久2年(1862)	前
31	豊国揮毫奇術鏡 勇婦綱手	歌川国貞	平野屋新蔵	文久2年(1862)	後
32	響灘立吉	歌川国貞	和泉屋市兵衛	安政元年(1854)	前
33	黒崎佐吉	歌川国貞	若狭屋与市	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
34	東海道五十三次之内 (行書東海道) 箱根	歌川広重	山田屋庄次郎	天保14年(1843)～弘化4年(1847)	前
35	東海道五十三次之内 (行書東海道) 池鯉鮒	歌川広重	山田屋庄次郎	天保14年(1843)～弘化4年(1847)	後
36	東海道五十三次之内 (行書東海道) 土山	歌川広重	山田屋庄次郎	天保14年(1843)～弘化4年(1847)	前
37	東海道五十三次之内 (行書東海道) 草津	歌川広重	山田屋庄次郎	天保14年(1843)～弘化4年(1847)	後
38	東海道 (隸書東海道) 箱根	歌川広重	丸屋清次郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
39	東海道 (隸書東海道) 池鯉鮒	歌川広重	丸屋清次郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
40	東海道 (隸書東海道) 土山	歌川広重	丸屋清次郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
41	東海道 (隸書東海道) 草津	歌川広重	丸屋清次郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
42	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	歌川広重	魚屋栄吉	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
43	名所江戸百景 亀戸梅屋敷	歌川広重	魚屋栄吉	安永4年(1857)	後
44	箱根七湯巡之内 宮ノ下	歌川広重	不明	江戸時代後期	前
45	江戸名所三光 隅田川の月	歌川広重	遠州屋又兵衛	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
46	魚づくし 鯖と蟹	歌川広重	不明	文化12年(1815)～天保13年(1842)	前
47	魚づくし 鱈	歌川広重	西村屋与八	文化12年(1815)～天保13年(1842)	後
48	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 小李江花栄	歌川国芳	加賀屋吉兵衛	文化12年(1815)～天保13年(1842)	前
49	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 九紋龍史進	歌川国芳	加賀屋吉兵衛	文化12年(1815)～天保13年(1842)	後
50	相馬の古内裏	歌川国芳	不明	天保14年(1843)～弘化4年(1847)	前
51	主馬佐田田公時 駭負尉権井貞光 瀧口内舎人源次郎	歌川国芳	山口屋藤兵衛	文久元年(1861)	後
52	通俗三國志之内 関羽(没)魏七軍	歌川国芳	葛屋吉蔵	安政元年(1854)	後
53	紀伊の国高野の玉川	歌川国芳	佐野屋喜兵衛	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
54	幽霊図	歌川国芳	太田屋多助	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
55	猫の当て字 うなぎ	歌川国芳	伊場屋仙三郎	天保14年(1843)～弘化4年(1847)	後
56	道外獣の雨やどり	歌川国芳	山口屋藤兵衛	江戸時代後期	前
57	人かたまって人になる	歌川国芳	大和屋久兵衛	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
58	年が寄っても若い人だ	歌川国芳	伊場屋仙三郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
59	年寄りのやうな若い人だ	歌川国芳	藤岡屋彦太郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
60	荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)	歌川国芳	伊場屋仙三郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
61	荷宝蔵壁のむだ書(黒腰壁)	歌川国芳	伊場屋仙三郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	後
62	白面笑壁のむだ書	歌川国芳	伊場屋仙三郎	弘化4年(1847)～嘉永5年(1852)	前
63	本朝水滸伝豪傑百八人之一個 上総介廣常	歌川国芳	加賀屋吉兵衛	文化12年(1815)～天保13年(1842)	後
64	誠忠義士肖像 大星由良之助良雄	歌川国芳	住吉政五郎	嘉永5年(1852)	後
歌川派三羽鳥合作・共作					
65	小倉擬百人一首 持続天皇	歌川国芳	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)～弘化4年(1847)	前
66	小倉擬百人一首 権中納言匡房	歌川国芳	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)～弘化4年(1847)	後

67	小倉擬百人一首 僧正遍照	歌川広重	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	前
68	小倉擬百人一首 謙徳公	歌川広重	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	後
69	小倉擬百人一首 清少納言	歌川国貞	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	前
70	小倉擬百人一首 西行法師	歌川国貞	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	後
71	双筆五十三次 四日市	歌川国貞 歌川広重	丸屋久四郎	安政2年(1855)	前
72	双筆五十三次 関	歌川国貞 歌川広重	丸屋久四郎	安政2年(1855)	後
73	東海道五十三対 川崎	歌川国芳	小嶋屋重兵衛	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	前
74	東海道五十三対 草津	歌川国芳	海老屋林之助	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	後
75	東海道五十三対 丸子	歌川広重	伊場屋仙三郎	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	前
76	東海道五十三対 京	歌川広重	伊場屋久兵衛	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	後
77	東海道五十三対 袋井	歌川国貞	伊勢屋市兵衛	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	前
78	東海道五十三対 荒井	歌川国貞	小嶋屋重兵衛	天保14年 (1843)~弘化4年(1847)	後
二代・三代と歌川派の絵師					
79	浮絵日本橋朝市之図	歌川国安	総州屋与兵衛	寛政3年(1791)~天保13年(1842)	前
80	浮絵日本橋魚市賑之図	歌川国虎	山本平吉	寛政3年(1791)~天保13年(1842)	後
81	観音霊験記 西国巡礼 横尾寺	二代歌川広重・歌川国貞	山田屋庄次郎	安政5年(1858)	前
82	観音霊験記 秩父巡礼 定林寺	二代歌川広重・二代歌川国貞	山田屋庄次郎	安政6年(1859)	後
83	新板猫づくし	重政 (三代歌川広重)	上州屋金蔵	慶応元年(1865)	前
84	化けものづくし	重政 (三代歌川広重)	佐野屋富五郎	元治元年(1864)	後
85	義士夜討引取之図	二代歌川国貞	葛屋吉蔵	弘化4年(1847)~嘉永5年(1852)	前
86	八犬傳犬の草紙の内 里見息女伏姫	二代歌川国貞	不明	嘉永5年(1852)	後
87	新板浮画日本橋之風景	歌川国貞	不明	寛政3年(1791)~天保13年(1842)	後
上方の歌川派					
88	華競錦写絵 武田勝頼	歌川広信	不明	慶応元年(1865)	前
89	華競錦写絵 半がく女	歌川広信	不明	慶応元年(1865)	後
90	市川海老蔵	歌川国升	不明	江戸時代後期	前
91	風流錦画鏡蓋 真柴久次	歌川広貞	浪華金花堂小西	江戸時代後期	後
92	四代目中村歌右衛門	歌川広貞	不明	嘉永5年(1852)	前
93	市川森之助	歌川貞芳	置ふし太	天保3年(1832)	後
94	武道名誉伝 武智光秀・仁木弾正	歌川広貞 歌川国升	不明	江戸時代後期	前
95	北新地盆おどり図画	歌川芳豊	不明	江戸時代後期	後
96	浪花北の新地 古市おどり	歌川貞芳	柴イ	江戸時代後期	前
97	浪花三幅対	歌川国貞	石川屋和助	江戸時代後期	後
98	帰燕芦のながめ	歌川芳瀧	本屋清七	江戸時代後期	前
99	北新地盆踊り 高亀 柳	歌川芳梅	不明	江戸時代後期	後
幕末明治の歌川派					
100	千年川出釈迦山取組図	落合芳幾	加賀屋吉衛門	安政5年(1858)~明治4年(1871)	前
101	常盤山 小の川	二代歌川国明	山口屋藤兵衛	万延元年(1860)	後
102	美勇水滸伝 宮本武蔵政名	月岡芳年	近江屋久次郎	慶応3年(1867)	前
103	東錦浮世絵稿談 宮本無三四正名	月岡芳年	しば・やましん	明治元年(1868)	後
104	五箇国人物行歩図	歌川貞秀	山口屋藤兵衛	文久元年(1861)	前
105	三顧茅廬図	歌川芳梅	綿屋喜兵衛	江戸時代後期	後
106	東京日本橋ハウスの遠景	歌川芳虎	澤村屋清吉	明治時代	前
107	東海道名所風景 藤之杜走馬	歌川芳艶	大黒屋金之助・金次郎	文久3年(1863)	後
108	東海道名所風景 金谷	歌川芳盛	大黒屋金之助・金次郎	文久3年(1863)	前
109	東海道名所風景 祇園祭礼	歌川芳艶	大黒屋金之助・金次郎	文久3年(1863)	後
110	東海道名所風景 御能拝見朝番	二代歌川広重・歌川芳虎・湯川周磨	大黒屋金之助・金次郎	文久3年(1863)	前
111	十二月之内 五月 日本橋之景	豊原国周	森谷治兵衛	安政4年(1857)	後
112	東京各大区之内 日本橋電信局	二代歌川国輝	若狭屋与一	明治6年(1873)	前
113	書画五拾三駅 日本橋三ツ井組ハウス	歌川芳虎	澤村屋清吉	明治5年(1872)	後
114	東海道名所図会	歌川芳虎	大黒屋金之助・金次郎	元治元年(1864)	前
115	東京名所図会 日本橋	二代歌川国虎・歌川国利	児玉又七	明治21年(1888)	前
116	東京名勝之内 日本橋	三代歌川国輝	加賀屋吉右衛門	明治時代	後
117	山王様御祭礼図	歌川国郷	辻岡文助	安政5年(1858)	後
118	神田大明神御祭図	歌川小芳盛	不明	江戸時代後期	後
119	大坂名所一覽	歌川貞秀	大黒屋金之助	慶応元年(1865)	前
120	日本橋美人之夕景	豊原国周	清水屋直次郎	文久3年(1863)	後
121	横浜鉄橋之図	歌川貞秀	丸屋甚八	明治3年(1870)	後
122	東京名勝会 日本ばし	歌川国利	辻岡文助	明治19年(1886)	前
123	古今東京名所 日本橋大名の行列 日本はしより室町の図	三代歌川広重	辻岡文助	明治17年(1884)	後

歌川国貞は三代歌川豊国を襲名するが、今回の展示では歌川国貞で標記を統一している。

展示順は番号順と異なる。

()の文字は異体字を意味する。